

待望の

日本手話文法入門書が、ついに誕生!

文法が基礎からわかる

日本手話のしくみ

NPO 法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター編 岡 典栄・赤堀 仁美著
大修館書店 税込価格 1,260円(本体 1,200円)

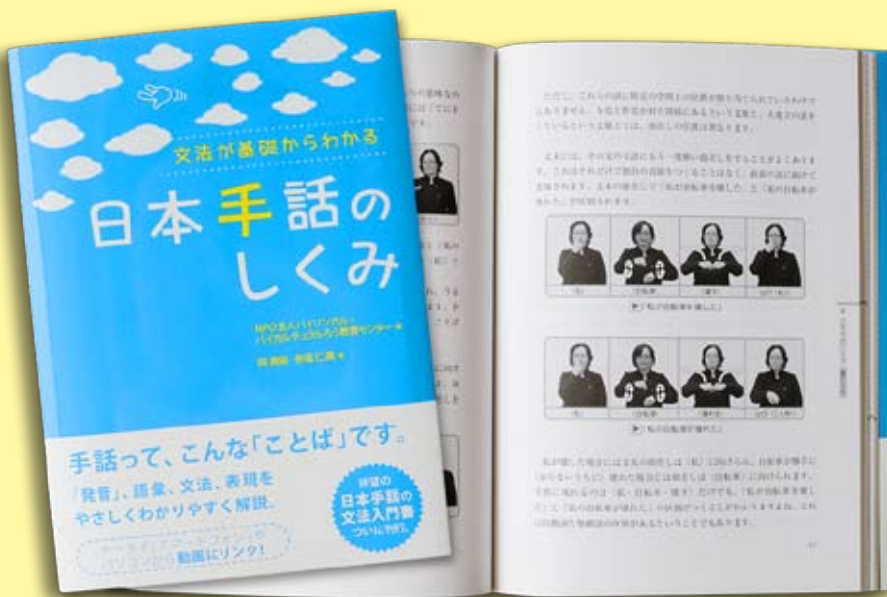
日本手話ってどんな「ことば」なのでしょう?

その「発音」、語彙、文法、表現を写真をふんだんに用いてやさしくわかりやすく解説しています。動画のコンテンツをスマートフォンやパソコンでインターネットを通じて簡単に閲覧することができます。手話指導者をはじめ、手話通訳者やその志望者、ろうの人々ともっと深く分かり合いたいという手話学習者にとって、必携の一冊

となります。また、ネイティブの手話話者(ろう者)にとっても日本手話を体系立てて再確認でき、目からウロコな内容です。手話に関わるすべての人にお勧めする、とてもわかりやすい「手話文法書」になっています。

1. 発音のしくみ

皆さんは、手話にも「発音」があるということをご存じですか? ここでは、手話の音(オン)についてお話ししたいと思います。え? 手話に「音(オン)」なんてあるわけないって? たしかに、手話は音声を使った言葉ではありません。でも、言語としての「発音」「音(オン)」にあたるものがあるのです。(本文より)



動画を見て学ぼう!

ケータイ(スマートフォン)やパソコンから動画にリンク!

手話は3次元の時空間であらわされる視覚言語ですので、実際に動きとして手話を見て学ぶことが効果的です。

本文中の▶が付いている手話の写真や例文は、携帯電話やパソコンで動画を見ることができます。(http://www.bbted.org/com/ にアクセス、またはバーコードリーダーから読み取り) ※動画例文数約80語(文)

数えます。本などのような束ねられた厚みのあるものを数えるときは1冊、2冊。また紙のような薄い、ヒラヒラしたものを数えるときは1枚、2枚。この「本」「冊」「枚」などは、助数詞と呼ばれます。この助数詞は、名詞を具体的な種類や形状に応じて分類していますので、日本語における類別詞(辞)でもあるわけです。

手話においても、細長いもの、厚みのあるもの、薄い紙片などをあらわす決まった方法があります。これは世界中の手話に共通のルールだといってもいいでしょう。



同じ細長いものといっても、鉛筆、電柱とひもではあらわし方が違いま